

【名称】 青丘社 ほっとライン

【住所】 川崎区桜本 1-8-22

【電話】 044-270-6127

【管理者】 湯浅利啓

【居宅介護支援員】 湯浅利啓 姜玲玉 張順子 李契順

【訪問介護・管理者】 張順子

【サービス提供責任者（主任ヘルパー）】 金裕美、高橋明美、小林弘子

【スタッフ】 常勤職員 7名（内 介護福祉士 7名）

登録ヘルパー 26名（内 介護福祉士 7名）

【活動報告】 契約利用者の高齢化により、全体として重度・重篤化傾向が進み、入退院、入所等の大きな変化への対応場面が増えている。利用者・家族の多重化する困難（認知症、うつ、アルコール依存症、人格障がい、経済破綻、介護疲労等々）に試行錯誤を重ねながら一番身近で寄り添い、生活主体としてその人が望む選択を行えるよう支援している。医療依存度が高いまま在宅生活を余儀なくされる利用者は増加しており、直接的な援助だけでなく、医療機関、福祉施設、行政と連携しながら情報提供等を含む広範な支援を行ってきた。また、豊かさの内容が問われる生活援助が、住み慣れた地域で暮らし続ける上で重要な支えとなっている。こうした利用者の多様なニーズに丁寧に応えるため、部署毎の研修により、知識・技術の研鑽に努めた。在日コリアン高齢者の生活課題に取り組んできた経験を全体化していく試みを行っている。レベル毎に会議を持ち、各部署内・部署間の連携を密にし、日々刻々変化する利用者の状態に対応できるよう体制作りを行っている。ほっとライン複数部署の事務所機能を集約することで、部署間連携を強め、マンパワーの効率化を図っている。

◆居宅介護支援 実績

利用者数推移（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
73	74	75	72	73	75	74	74	77	76	81	81

◆訪問介護 活動実績

<高齢者>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	要支援2	4	4	5	5	5	5	5	4	4	5	3
	要介護1	17	15	15	15	14	14	17	17	17	18	18
	要介護2	8	3	8	7	7	8	6	6	6	6	8
	要介護3	7	8	8	8	9	9	8	8	9	9	9
	要介護4	3	3	2	3	3	3	3	2	3	2	2
	要介護5	4	4	3	4	2	3	3	4	4	4	4
合計	43	42	43	42	40	42	42	41	43	44	46	45
提供時間	708.00	723.15	768.50	735.45	640.30	722.15	743.30	711.00	779.40	777.00	616.10	707.20
派遣回数	525	517	538	521	468	508	521	485	562	480	463	510

<障がい者>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	身体	利用者	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	
		派遣時間	23.5	24.0	25.0	25.5	19.5	10.5	11.5	10.0	10.0	11.0	10.0	11.5
	家事	利用者	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	
		派遣時間	48.5	43.0	47.5	48.5	43.0	26.5	29.0	26.5	24.5	28.5	25.0	28.5
	通院介助	利用者	3	2	3	2	3	4	3	4	5	3	3	4
		派遣時間	10.5	10.5	12.0	6.75	13.5	15.5	12.0	15.25	20.25	11.0	12.0	15.5
重度訪問	利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	派遣時間	17.0	20.0	9.0	8.0	20.75	17.0	20.5	19.0	12.0	12.0	12.0	4.0	
行動援護	利用者	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	
	派遣時間	144.0	162.5	128.0	139.5	177.0	140.0	140.0	162.5	115.5	113.0	96.0	92.0	
移動支援	利用者	5	5	4	4	4	6	4	5	6	8	7	7	
	派遣時間	58.0	48.5	52.75	57.0	48.0	62.25	46.5	43.5	86.5	101.25	99.5	102.5	
あんしんサポート	利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	派遣時間	7.5	7.5	12.0	13.5	12.0	12.0	12.5	13.0	10.5	8.0	10.5	12.0	

【名称】 青丘社 ほっとラインデイサービス（通所介護）

【定員】 10名

【住所】 川崎区大島 3-33-4 ベリタス原田 【電話】 050-3333-8196

【管理者】 小村麻有

【生活相談員】 小村麻有、田中佳代子

【スタッフ】 非常勤、月契約スタッフ 7名（機能訓練指導員 1名含む）

【活動報告】 日々変化する利用者の状態にすばやく対応出来る体制作りを強化し、ご家族の介護軽減、また、独居の方の支えとなる援助を心掛けた。人格を尊重し一人ひとりのニーズに合わせた援助の実践、身体機能低下予防・日常生活訓練、回想法、カラオケ、レクリエーション等工夫している。

隣接の認知症対応型通所介護との交流により、スタッフ・利用者共に活気づいて交流の輪が広がり、利用者のプログラム参加が積極的になり、病状改善、認知症予防防止に繋がっている。

安心できる居場所、家庭的で母国語でも会話出来る場所を提供し、豊かな生活が送れるように日々支援している。

好評の食事は、韓国料理を中心に栄養バランスを考え、行事食や季節に合わせたメニュー作り、個々の嗜好も取り入れ提供出来る様に努力している。

また、新たなプログラムとしてウリマダンとの交流を週に1回持つことにより、新鮮な時間が作られるようになり生き生きと活動している。

（平均年齢 87.5 歳 90 歳以上 5 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①7時間以上	69	77	92	91	86	77	45	37	39	32	16	17	678
②5時間以上7時間未満	78	73	59	72	70	46	67	66	63	74	97	90	855
③5時間未満	23	26	23	32	10	22	13	8	12	14	21	20	224

【名称】 青丘社 ほっとラインデイサービス（認知症対応型通所介護）

【定員】 11名

【住所】 川崎区大島 3-33-4 ベリタス原田 1階 【電話】 050-3333-8196

【管理者】 金成美

【生活相談員】 金成美・白崎真由美

【スタッフ】 非常勤、月契約スタッフ 5名（機能訓練指導員 1名含む）

【活動報告】 同一敷地内に通所介護と認知症対応型通所介護を隣接させることにより、提供サービスの明確な差異化と賃料支出及びマンパワーの効率化を図っている。うつによるひきこもりの方、認知症で多人数が苦手な方、孤独感の強い方など、様々な問題を抱えている人の立場により沿って、その人らしく過ごせるように、利用時間をご本人の大切な時間として考え、毎日スタッフが工夫しながら様々なプログラムを一緒に行ってきた。認知症対応型デイサービスでは、これまでの取り組みを活かしつつ、更に認知症ケアに特化した実践を積み重ねている。隣接の通所介護デイサービスとの交流により利用者同士の交流の輪が広がり、認知症の進行防止、症状の改善につながっている。

また、ウリマダンとの交流を週1回水曜日の午前に行なっていて、双方の刺激となり認知症の予防に繋がっている。

（平均年齢 84.4 歳 90 歳以上 4 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5時間以上7時間未満	102	113	112	126	103	101	132	130	120	126	117	132	1414
5時間未満	1	0	4	10	7	12	12	12	9	8	8	11	94

【名称】 川崎市障がい児タイムケアモデル事業

（田島支援タイムケアセンター）

【住所】 ①田島支援タイムケアセンター（月～土） 川崎区池上新町 1-1-3（田島支援学校桜校内）

*①使用出来ない時には、下の②、③の場所を使用した。

②渡田タイムケアセンター 川崎区渡田 1-15-5（渡田こども文化センター内）

③桜本コミュニティセンター 川崎区桜本 1-8-6

【電話】 事務所（ほっとライン）：044-379-1037 専用携帯：090-5443-4671

【実施日時】 月曜日～土曜日 放課後～18:00、土曜日及び長期休暇中 10:00～18:00

【定員】 1日 10名程度

【管理者】 相 啓一、八木一枝

【スタッフ】常勤3、非常勤17

【活動報告】タイムケアモデル事業は、川崎市の委託を受けて障がいのある中・高生の放課後や夏休み等の長期休暇中の余暇活動の充実を図ることを目的に実施している。

タイムケアが2018年3月末までに終了することもあり、新規利用者登録は少なかった。利用者の理解と支援の質の向上のため、スタッフ間でのミーティングや情報共有、勉強会を積極的に行なった。

【タイムケア事業実績】

2015年度(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録人数	54	54	53	53	53	53	54	54	54	55	56	56	
実施日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	26	294
延べ利用者数	296	291	300	324	303	275	322	299	294	284	277	318	3583
送迎回数	410	404	417	480	453	392	465	429	444	413	397	467	5171

【名称】障がい児・者相談支援事業

【住所】川崎市川崎区桜本1-8-22

【電話】事務所(ほっとライン):044-379-1037

【実施日時】月曜日～金曜日 9:00～18:00

【管理者】姜玲玉、

【スタッフ】相談支援専門員 常勤1(兼務)

【活動報告】2016年3月現在で契約者数は33名。内訳は障がい福祉サービスのサービス等利用計画を作成する等の計画相談支援16名、障がい児支援利用計画を作成する等の障害児相談支援17名となっている。相談支援利用者のほとんどは、タイムケア、ちえりー、虹のホーム、訪問介護、日中一時預りなどの利用者やふれあい館からの紹介など、法人各事業と連携して相談支援を行っている。2015年度も川崎市や川崎区の地域自立支援協議会に参加して、横のつながりをつくり、制度の改善や地域の課題解決にも取り組んできた。

当初より相談支援専門員1名で事業を担当しており、業務内容を共有する他職員がいないことと、新規利用希望に答えきれないことが課題となっている。

【名称】日中一時支援「そら」、放課後等デイサービス「ちえりー」

【住所】川崎市川崎区桜本1-8-22 【電話】044-379-1037

川崎市川崎区桜本1-8-6 【電話】044-276-8082

【実施日時】学齡児放課後～17:30(その後送り) 長期学校休業日10～17:30

成人15:30～18:00

【定員】日中一時10名、放課後等デイ10名

【管理者】日中一時支援～李契順

放課後等デイサービス～中根正一

【児童発達支援管理責任者】放課後等デイサービス～斉藤ゆみ子

【スタッフ】日中一時～12名

放課後等デイ～18名

【活動報告】2015年度は他の事業所の放課後等デイサービスが新設されたため、全体として利用希望者と受入数の差が少なくなってきた。しかしながら多くの他事業所では肢体不自由の利用者の受け入れ体制がなく、肢体不自由の利用者の比率が多くなってきている。引越しや他の放課後等デイサービスの利用意向で空いた定員により、今まで週1回しか利用できなかった利用回数増希望者に複数回利用を暫時行えるようになった(週1回では利用者の療育を支援するためには頻度が少なすぎた)。

成人については生活介護事業所の終了時間が早まってしまったため、夕方の受け入れ先がなくなる利用者が増えており、送迎車、人員等の困難を伴いながら15年度も受け入れを行った。成人については、毎年高等部卒業者が増えるが受け入れ人数を増やすことは困難なため抜本的な改善策が必要であり、保護者の「川崎市へ問題解決」への動きの支援を行っている。

【2015年度事業実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
放課後等デイ小中生	170	154	207	221	187	189	222	189	183	183	191	219
日中一時小中高生	132	122	107	88	77	83	94	86	88	85	89	84
日中一時成人	48	48	49	56	47	47	44	41	36	41	39	39
合計	350	324	363	365	311	319	360	316	306	309	319	342

【名称】 共同生活援助 虹のホーム（定員3名 利用3名）
 共同生活援助 第二虹のホーム（定員6名 利用6名）
 【住所】 川崎区桜本 2-45-1 【電話】 044-277-0223（虹のホーム） 044-266-3470（第二虹のホーム）
 【管理者】 姜 玲玉
 【サービス管理責任者】 川本創一
 【スタッフ】 世話人6名 生活支援員13名
 【活動報告】

- ◆利用者
 虹のホーム（男性）： 新規利用者1名が2月末～4月体験利用、5月より入居・利用開始。
 第二虹のホーム（女性）： 変動無し。全体として安定した利用状況
- ◆スタッフ体制
 1年勤めた男性世話人が8月末で退職、11月より新世話人が週二回宿泊で勤務。
- ◆生活・環境
 [行事] 利用者誕生会／日帰り旅行（11/7 福祉バスでマザー牧場）
 [防災・訓練] 避難訓練実施（7/28・11/12） AED レンタル開始（8月～）

【利用状況】

- ◆開業日（宿泊曜日）＝通常月～金 ◆利用時間帯＝16:00～翌 10:00（土のみ～13:00）
- ◆通常外の利用＝要望に応じ土曜、日曜宿泊有り。 ◆公休＝12/29～1/3 年末のみ。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
虹のホーム （定員3名）	開所日数	27	26	27	27	25	26	27	25	26	24	25	27
	利用日数	50	57	71	71	67	63	62	59	64	60	66	67
第二虹のホーム （定員6名）	開所日数	27	26	26	27	26	26	27	25	26	24	25	27
	利用日数	141	118	142	142	121	125	127	121	124	118	130	132
合計 （のべ）※	開所日数	243	234	237	243	231	234	243	225	234	216	225	243
	利用日数	191	175	213	213	168	188	189	180	188	178	196	199
利用率		79%	75%	90%	88%	81%	80%	78%	80%	80%	82%	87%	82%

【名称】 障がい者就労支援 地域活動支援センター スペースほっと&ほっとカフェ

【場所】 川崎区桜本 1-8-10 【電話】 044-288-5141
 川崎区桜本 1-7-24 【電話・FAX】 044-276-8093

【管理者】 金恵玉

【スタッフ】 常勤3名 非常勤1名 調理スタッフ3名 サービス管理責任者1名

【障がい就労者】 9名（川崎市）2名（横浜市）

【活動内容】

作業内容	取引先
日替わり弁当づくり	学校・地域・病院・施設・法人内
会議用弁当づくり	得意先・法人
手作りおやつ提供	わくわくプラザ3校
デイサービス昼食提供	法人デイサービス
グループホーム夕食提供	法人グループホーム
夕食用お弁当配達	地域
オリジナルスイーツ製造販売	保育園・地域
キムチ製造販売協力	地域・法人内
ひとかごグッズ販売	地域

5月	・レクレーション 東扇島マリエン BBQ ・青丘社 歓送迎会参加 ・まちなか絵画教室参加
6月	・大島小学校バザー「きずなのあしあとクッキー」販売参加 ・大島小学校6年生研究授業参加 ・まちなか絵画教室参加
9月	・チャレンジ事業参加 ・まちなか絵画教室参加 レクレーション 横浜海の公園 DayCamp
11月	・日本の祭り出店

	・まちなか絵画教室参加
12月	・まちなか絵画教室参加 ・まちなか絵画教室作品展 ・クリスマス会参加
2月	・まちなか絵画教室参加 ・スペース PAZ 出店
3月	・大島小6年生「交流会」参加 ・まちなか絵画教室参加

【活動報告】 スペースほっと&ほっとカフェでは、『働く場所』としてメンバー一人一人が働くことに対する意欲や自発的に仕事に向き合えるようサポートを行ってきた。個別対応を重視し、相談・面談などを重ね、相談支援や各部署、ご家族との連携を密にし、メンタル面・健康面に焦点をあてながら、作業内容の工夫や見直しなど、特性に合わせた就労援助を目標としてきた。また皆が楽しみにしている月1回のメンバーミーティングでは、働く仲間との関係づくりや、気持ちの良いコミュニケーション、自分の考えを表現する取り組みなど、学び合う機会となり楽しい時間となっている。こういった中で着実に力をつけているメンバーは今年、『川崎市障がい者雇用短期チャレンジ事業』『3days チャレンジかわさき』企業での職場実習に2名エントリーを出し1名が職場体験をするなど刺激的な年となった。パン工房アンダンテ、昨年開所された新しいセンター マナと3つのセンターでより一層メンバーが生き活きと活躍できるよう連携を図っている。余暇支援としての2013年3月から始まった『まちなか絵画教室』も6期が終了し、現在9名の生徒がキミ子方式で絵を描いている。ご家族を迎えての定期作品展なども開催している。今後も絵を描くという表現方法を通して、障がい者の表現活動を広げていく。

【名称】ほっとカフェテリア パン工房

【所在地】川崎区浜町1-9-14 アカツキビル1階

【電話】050-3399-5411 **【FAX】**044-333-8624

【管理者】豊田民珠

【スタッフ】非常勤専従スタッフ1名、事務専任パート1名、パート支援員6名

※バックアップ=金恵玉(マナ)

【活動報告】

月	4年度目トピック
4月	週一度桜本保育園・ふれあい館・わーくす大師・川崎南部療育センターでの販売継続
5月	東扇島マリエンにてバーベキュー開催、青丘社歓送迎会参加。
6月	ふれあい館まつり参加
7月	保育園用補食でのアレルギー物質混入防止対策スタート
8月	新規利用者1名、消防立ち入り検査
9月	横浜海の公園(金沢八景)日帰り旅行、チャレンジ事業参加(1名)、トラジ会反戦デモ参加
10月	かわしん「ふれあい市場」出店、「身体障がい者大運動会」パン納品7000円、「区民綱引き大会」ラスク納品200セット
11月	「ふくしまつり」出店30000円、新規利用者1名、さくらもとプンムルノリ出店
12月	クリスマス祝会プンムルノリ出演
1月	新規利用者1名、「田島プラザまつり」出店27000円、健康診断実施
2月	「スペースPAZ」参加、大島小6年生コラボ企画①東三輪幼稚園にて販売24140円
3月	青丘社懇親会参加、大島小6年生コラボ企画②「交流会」参加、③きずなクッキー注文販売、大島小卒業祝い焼き菓子セット作成、大島小卒業式出席

<スタッフおよび利用者状況>

○新規利用者は、週5日利用希望者1名。週2日利用希望者2名。

10月からの「ほっとスペース マナ」開設により減少する利用者数を補う必要があり、新規利用者を受け付けた。新規3名のうち相談機関を通した申し込み者は1名。

<授産活動について>

○製パン事業、利用者の技術習得や分業化がより進み、個々のやる気ややりがいを引き出しながらの作業分担が利用者の方々によって自主的になされている。一日に食パン8斤~12斤、菓子パン100個作成し、菓子パン30個ほど残る日が週4日ある。残ったパンは夕方に学習サポートの補食やふれあい館およびほっとラインに限定して半額で販売している。

○サリサリストアはフィリピンコミュニティのランチ活動が終了したことから、フィリピン食材の売れ

行きが減少したため個々の客のニーズ把握に努めた。ペルー食材はおおむね順調に回転している。
 ○毎週金曜日のペルーランチはボランティアの手を借り年 49 回実施し、毎食平均 30 食以上の販売数を維持。クリスマスの特別メニュー時は予約も多かったため 80 食用意した。パン工房の利用者が積極的に手伝うようになってきたおかげで、販売量を増やすことができた。
 ○集客効果を期待して、スポーツ紙が市民祭りで配る新聞に広告を出し、また区内の高等学校あてにパンフレットを配布している。

【月ごと利用者数推移・通年における一日平均利用者数】

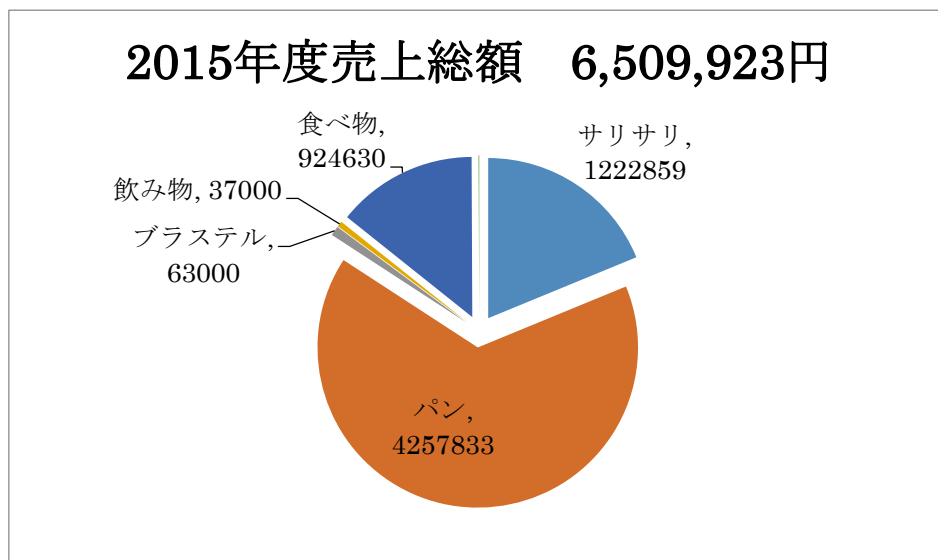
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1日平均
10名	10名	10名	10名	10名	11名	8名	8名	8名	9名	9名	7名	4.8名

【売上】

多文化ランチが1日減ったことで大きな減収を覚悟したが、sari-sari や食べ物はやや伸びた。パン事業の売上は落ち込んだ。(−50万)

【年度反省】

喫茶事業の展開ができなかった。以前から利用客の少なかった喫茶事業は、パートスタッフには製パン事業をしっかり担っていただくという方針もあり、多文化ランチ以外での展開が難しかった。一般の利用客には、パンのイートインスペースとして活用される方もいるが、たまたま立ち寄って休憩や打ち合わせをする利用客同様、まれだった。少ない手順で提供できるメニュー構成や下準備の工夫をし、利用者に対応できるようにしたい。



【名 称】地域活動支援センター ほっとスペース マナ

【場 所】川崎区桜本 1-9-9 【電話・FAX】044-589-3108

【管理者】金恵玉

【スタッフ】常勤2名 非常勤1名

【メンバー】13名

【活動内容】学習プログラム パソコン体験 スイミング活動 調理活動など

【活動報告】2015年10月より、『居場所づくりと社会参加』社会とつながることができるきっかけの場として、多様な背景・文化をもつ者たちにとっての居場所として開設された。現在は13名のメンバーが通所している。(障がい)手帳の有無にかかわらず、支援が必要な方が利用することができるため、これまでサービスにつながっていなかった方にとっても「居場所」として利用していただくことができる。学習支援を必要とする方、生活支援を必要とする方、余暇を楽しむための支援などを行っている。また社会参加を目的とするマナでは、法人内でのワークシェアを積極的に推し進めながら、デイサービスでは、介護ボランティアとしてメンバーが意欲的に関わり、学ぶ機会が与えられている。また他の事業所からつながったメンバーが、就労経験を支援する場所として桜本保育園で管理作業、清掃などのお手伝いに関わっている。人と繋がることで得ることができる自信や安心感、自己肯定感などがコミュニティワークを通して生まれてくる。そういった意味において、今後も社会参加活動を活発に行っていく。また、それと同時に支援体制の強化を図る。CW、相談支援、関係機関等と連携を図るなど、地域とつながり、地域社会に参加していくことができるよう、地域に開かれたプログラム企画なども、次年度へ向けての活動として3つの地域活動支援センターと協力しあいながら取り組んでいく。